

令和4年 第6回教育委員会 会議録

招集年月日	令和4年4月8日
招集場所	日南町役場 防災会議室
開 会	午後1時30分 教育長宣告
出席委員	青戸教育長 中島教育委員 中村教育委員 西村教育委員 山脇教育委員
欠席委員	なし
議 案	第18号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価（案）について

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
事業報告及び 行事予定	教育長	第6回教育委員会を開会します。
	教育長	※資料により内容説明（事業報告及び行事予定）
日程第1 議案第18号	教育長	議事録署名委員は西村委員。
	教育長	日程第1 議案第18号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価(案)について(継続審議) 時間ありませんので、前回の資料を見た中で感じられたことについてお聞かせいただきたい。斜線等の部分については前回頂いた意見を反映させて訂正した資料をお渡しする。本日は学校教育部分の審議を終わらせられたらと思う。
	教育委員	4年度もアイチェックの活用は継続してやるということでよいか。
	教育長 教育委員	その通り。 中身について現場で疑義は出たりしたのか。項目等々、必要かとか。

事務局	小中学校の教員に向けて研究会をしているが、その中でも生活指標として活用するという方針を説明している。教職員からの疑義はない。
教育委員	数字で評価点が出るわけではないが、てこ入れが一番大事である。教育委員会ではC評価だったことを現場に伝えた場合どうなるのか。
事務局	そのまま学校に伝えるということはしていない。伝える必要があるのかと思うが。
教育委員	改善していくためには当事者が結果を知る必要がある。議会に提出するだけでなく、我々は現場に対して責任を持つ必要があるのではないか。評価結果を現場にフィードバックして改善策を組むということを考えてほしい。
教育長	委員がおっしゃる通り結果を活かして改善していくということが一番の目的であるという認識はあり、以前から指示をしている。そこがはっきりと出るような形を大事にしていかななくてはと思っている。特にC評価の部分で手立てを文面で与えられるよう、改善点のご意見を頂きたい。
事務局	これについては我々、特に事務局の事務の管理と執行に関する評価なので、この結果をすなわち学校の評価として伝えることに対して慎重に考えていかなければと考えている。今までも点検結果を受けて学校への指示連絡等を懇話会などの場で個別に行ってきたところではあるので、点検評価の結果をそのまま伝えるということは避けたいと思う。
教育委員	アイチェックの評価については、事務局が受けた検査結果ではないのだから現場にフィードバックしてやる必要があると思っているということ。もちろん議会に上程する内容をそのまま全て学校に知らせなさいということではない。精査して現場に伝える必要のあるものを伝えてほしい。
教育長	あとは、前回C評価を斜線として扱うことにしたところがどこか、先に確認させてほしい。
事務局	学校教育が海外派遣、6ページと9ページ2か所。社会教育のところでは。 コロナだけが原因ということではないが、19ページの文化センターの利用者数について目標値を達成できなかったためC評価。コロナが原因のものは20ページ、青少年の交流事業は事業自体がなくなったためC評価を斜線にしたい。21ページ、家庭教育の推進については計画中止が1件あったが目標値を達成しているためC評価をB評価に修正している。26ページ、各種大会・郡大会等の開催についてはコロナのために中止したので斜線。

教育委員	24ページの保護者に向けた子どもの読書活動の啓発がC評価なのはコロナのために中止をしたからか。
事務局	その通り。
教育委員	子どもの読書計画の策定ができているならA評価でいいのでは。
事務局	策定しただけで運用までできていないためB評価としている。
教育委員	なるほど。では運用については課題点として表記してはどうか。
教育長	では、学校教育についてなにか。
教育委員	5ページの教職員の授業公開は全員が年1回以上実施したということだが、これはA評価ではないのか。
事務局	目標に対して期待以上の成果が出た場合にA評価ということだから回数の達成でA評価とはならないのではないか。なのでB評価ということ。
教育委員	では、改善点を付け加えてはどうか。
事務局	教員によって授業の質の差もあるので、全体として期待以上の成果があったかということでB評価とした。
教育長	では今後は質の向上をということで。
教育委員	A評価をつけるというのは非常に難しい。
教育委員	やはり点検表の見直しをしてほしい。学校現場が項目として書かれる部分が多いが、学校現場に対して教育委員会がどのような取り組みをしているのかという部分を評価する必要もあるのではないか。教育委員会としてすることをもっと明確にして、実働部分を評価できるようになるともっとわかりやすいと思う。もう一つ、教育委員会も事務局の事務の一つではあると思うが、教育委員会の管理についての項目がない。それを挙げていく必要があるのではないか。
教育長	いま委員がおっしゃった点検の見直しについては必要だとは思っているが、今は点検で手一杯なので今後また見直しを図るということで。
事務局	項目については毎年見直しをしながら徐々に手入れをしており、ようやくここまで整理できたところである。

教育委員 事務局	<p>3 - 4 年前に比べればずいぶん見やすくなったが、他町の様式や内容を参考にしたりしたのか。他町は本町ほど詳細ではないようである。本町は相当丁寧に目標の設定とそれに照らし合わせた点検評価を実施していると捉えていただきたい。</p>
教育委員 教育委員	<p>更なる質の向上を求める。 キャリア教育の実施についての項目で「ふるさと教育の計画的な実施」とあるが、教育委員会としてどう考えているかが見えてこない。工夫されているのは承知しているが、実際にどう動いているのか見れるようになると良いと思う。</p>
事務局	<p>昨年度までの結果を踏まえて、学校・園ともに指導をしている。先述の項目については、新しくカリキュラムの設定をしたり、実施に向けた連携を行っている。ただ実態として、こちらが働きかけても学校現場が思った通りに実施できるのか、成果として出るのかというのはある。事務局としての取り組みを、事務局から学校に働きかけているからできていると評価すべきなのか、学校現場から成果として出てこないということはできていないと評価すべきなのか、という考え方ができる。今のところは実際の成果を第一として評価したいと思っているが、項目によって評価基準の整合性がとれているかというところではない部分がある。ご指摘の点は今後も整理していきたい。</p>
教育委員	<p>いま事務局が言った内容は文章として存在しているのか。もしあるようであれば次回評価をする際にもやりやすいと思うが。</p>
事務局	<p>できるだけわかりやすい指標というところと、指標に照らした実施状況なり成果ということを書いたつもりだが、ここに書いていないこともある。</p>
教育委員	<p>実績をすべて列記する欄はないし補足資料をつけるのかもなし、となるとこの中で全て文章として仕上げることになるが、それならこういう様式になるしかないと思う。あとは、先ほど事務局が言ったが、人によって評価の配点が変わってくるのを感じた。去年はB評価で今年はC評価だが並べてみたら同じような数値だった、という事例もあるような気がする。例えばこれがすべてA評価だから交付金が増えるということがあるわけでもないから、そういうことは気にすることもないか。</p>
教育委員	<p>学校現場から課題として見えてきたこと、指導に個人差があるといったことは学校全体のチームとしてのまとまりに欠けているということではないか。そういった点も指導するというのも必要かと思う。</p>

教育長	成果指標でものを見ているが、やったこと、指導したことに対する評価はできると思う。文章でこういう指導をしたということを評価書に記入しておくのは一つの方法ではないかと考えている。
教育委員	何年もこれを議論しているが、成果指標の欄と一番肝心な評価の欄のマスが同じ大きさ。ここを工夫することはできないか。何をしたかどうかは書いておかないと読み取りにくい。
教育委員	成果指標の欄はもう少し狭くして、何をどうしたというところを書き足すスペースを作ってはどうか。B評価とかC評価とか我々はそう気にしていないので、何をしたか次年度に何を申し送りするかということが分かったほうが良いと思う。
教育委員	指標については1～2行で済むので、実施状況の成果等の方が大事であるので、欄を工夫していただきたい。
事務局	昨年度の指摘を取り入れ、何度か加筆をさせていただいている。数年前に比べ文章量も増えてきているが、さらに増やせということであれば努力したい。とはいえ事務局としても点検評価書の作成に相当の時間を要しているため、すべてを網羅したもの、さらに詳しいものを用意するということに限界もあるので、その点についてはご理解いただければと思う。
教育長	私も指標が一番のネックになっている部分かと感じるので、書き方等検討していいと思う。そこは令和4年度に向けての点検評価の中身を変えていくというのはあると思うので、令和3年度についてはこういう形でいかせていただいて、今後のことについては大学の方にも聞いてみたいと思う。その他ございますか。
教育委員	内容についてはない。
教育長	学校教育についてはこれでいいということで。社会教育の方はご意見等々あるか。
事務局	昨年度、課題を挙げるだけでなく課題を捉えて次年度どうするかということを考えて書いてはという指摘をいただいたのでその点を意識して作成している。
教育委員	社会教育はやはりコロナの影響が大きいようだ。
事務局	令和4年度はできる限りコロナの状況が変わらなくても体制を整えて実施していこうという話を担当間でしている。
教育委員	社会教育の活動をしている団体の整理・把握はしているのか。

協議・報告	事務局	社会教育推進員がまとめている団体の記録があり、各団体にアプローチしていく予定である。
	教育委員	それを地域学校協働本部のネットワークに活用できるのではと考えている。
	事務局	最終ページの目標と成果指標の部分では地域コーディネーターと社会教育推進員が協力し地域学校協働活動を推進していくという部分にフォーカスしている。今年度は社会教育推進委員がCS担当も兼務しているため、両輪で進めていく。
	教育長	また、もう一度審議していきたいと思う。斜線の部分等手直ししたものをそれまでに配布した方がよろしいか。
	教育委員	必要ない。
	教育長	それでは、議案第18号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価（案）は継続審議ということでよろしいか。
	教育委員	異議なし。
	教育長	○日南町立日南小学校の主任等の任命について
		○日南町立日南中学校の主任等の任命について
	事務局	※資料により内容説明
	教育長	ご質問等あるか。
	教育委員	教務主任の配置について伺いたい。
	教育長	人員配置と学校の状況の兼ね合いである。
	教育委員	CSの学校側の担当はどなたかわかっているか。
事務局	後日分掌表をお渡しする。	
教育長	○民法改正による成人年齢の引き下げに伴う成人式の実施方針について。	
事務局	※資料により内容説明	
教育長	ご意見はあるか。	
事務局	参考として、今年度18歳～20歳になる方の合計人数は92名である。また、補正予算を組む必要が	

教育長	あることに加え、18歳という年齢は受験や就職を控え式典どころではないということも予想される。
教育委員	他市町村並みに20歳でよいか。
教育長	なんで日南町だけ違うのかと言われるのはいただけない。
教育委員	では、20歳を対象年齢として実施するという方針で。実施する時期はいかがか。賑やか・華やかになるのは1月実施であるが、雪の中という部分がある。
教育委員	夏にした経緯は冬の開催が家庭にとって負担であるといったところだったと認識している。いまもそういう時代かというところか。
教育委員	当事者がどう思うのか。
教育委員	コロナの影響で延期になることも織り込んでひとまず8月に予定すればいいのではないか。1月だと来年度に延期するしかない。
教育長	私は集まりやすいのは夏かと思う。
教育委員	夏がだめでも冬に延ばせる。夏に組んだ方がいい。
教育委員	来年度に延期というのは本人たちのモチベーションも下がるので、できる限り今年度中に開催したい。PCR検査費用を補正予算に計上して夏開催の準備をするのが良いと考える。
教育長	では、本町は引き続き夏開催ということによろしいか。
教育委員	異議なし。
事務局	◎事務局より ○幼児・学校教育室より 昨日から新学期が始まったばかりなので学校教育室からは特にはない。 ○社会教育室より 現在まなびや縁側の日南拠点の準備を進めている。備品等が揃っていない状況ではあるが、町内の中高生に知っていただくために来週11日からプレオープンする予定である。PRにご協力いただきたい。
事務局	○教育委員会の開催予定等について 第7回 5月13日(水) 13時30分

その他	教育長 教育委員 教育長 教育委員 教育長	<p>○令和4年度のこども園・小学校・中学校の経営方針について 今配布しましたのが3月の学校運営協議会で承認いただいたもの。今年はこれで進めていくというものなので、ご理解いただきたい。もう1枚は学校運営協議会の概要（非公開）である。</p> <p>※資料により内容説明</p> <p>C S サポーターはどうなっているか。 28日に読み聞かせが始まる。 A L T の任期はいつまでか。 2年間、来年の9月まで。</p> <p>以上で第6回教育委員会を閉じます。</p>
-----	---------------------------------------	---

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員